

第 90 回大腸癌研究会 広報委員会

議事録

開催日： 2019 年 1 月 24 日（木）11 時～12 時 京都テルサ東館 3F D 会議室（京都）
出席者： 植竹宏之（委員長／東京医科歯科大学）、石黒めぐみ（東京医科歯科大学）、
岡志郎（広島大学）、島田能史（新潟大学）、問山裕二（三重大学）、濱口哲弥（埼玉医科大学国際医療センター）、深澤智美（防衛医科大学校）、森脇俊和（筑波大学）（敬称略、五十音順）

1. 報告事項

0) 新委員の就任

2018.8.07 付けでの 3 名の先生方に委員に就任いただいた。

岡志郎、島田能史、森脇俊和（敬称略）

1) 2018.7.13

ガイドライン改訂案に関するパブリックコメント募集ページを開設した。

2) 2018.8.09

『研究会開催のお知らせ』内に、“次々回”の開催日時・場所も掲載する形に変更した。

3) 2018.8.10

「大腸癌取扱い規約第 9 版 改訂のポイント」を HP 掲載した。

4) 2018.8.23

全国大腸癌登録「2006 年症例」「2007 症例」報告書を掲載した。

5) 2018.9.12

トップページに、大腸癌研究会で『小腸癌取扱い規約』・『小腸癌治療ガイドライン』の作成を予定している旨、アナウンスを掲載した。

6) 2019.1.25（予定）

アクセスレポート（2018 年 6 月～12 月）を掲載した。約 10 万アクセス/月で推移。

7) 2019.1.25（予定）

ガイドライン 2019 年版（案）パブリックコメントに対する回答を掲載した。

8) プロジェクト研究で作成した「ノモグラム」の掲載ページを準備中である。

まずは LAR 術後の縫合不全リスク予測のノモグラムを掲載予定。その後、結腸癌・直腸癌の再発リスク予測ノモグラムを順次掲載予定である。

2. 討議事項

1) 終了した研究会の抄録集の電子版掲載について

①冊子体を PDF 化（OCR 加工してテキスト検索は可能）したものを HP に掲載する方式

と、②「メディカルオンライン」に、医中誌のような形で検索可能な形で掲載する 2 つの方向で、費用などを調査中である。学会評議員申請の業績提出などに利用するには、表紙や座長業績なども必要なので、①と②の双方があると便利と思われる。

→ 費用などの詳細を確認の上、できれば①+②の方向で引き続き検討する。

2) プロジェクト研究『関連論文』について

問題点として、①掲載の階層が深い（わかりにくい）、②目的の論文を探しづらい、③更新が不十分、等がある。対策として、下記の方向ですすめることで合意した。

①については、トップページ左側にバナーを設け、そこから入る形式に変更する。

②については、プロジェクト研究ごとに整理して掲載する方向がよいのではないかと。

③については、研究会事務局からアナウンスをしているにも関わらず十分ではない。ページ改編が進捗したら、並行して方策を考える。

→ 費用との兼ね合いもあるので、まずは石黒が HP 業者に利用可能な仕様（できること・できないこと等）を確認する。

その上で、どんな形式が適しているかを委員内で検討する。

3) 『大腸癌診療のトピックス』について

前回委員会にて、コンテンツ名称を『会員向けリンク集』（仮）に変更、中身もリンク集のみ残すことで合意した。

分担を決め、半年に 1 回の定期的なアップデートを行うこととした。（*取り纏め役）

(A) 『会員向けリンク集』のアップデート	間山委員*、岡委員、森脇委員
(B) 『一般の皆様へ』内コンテンツ（一般向けリンク集含む）のアップデート	深澤委員*、濱口委員、島田委員

→ 3 月末までに担当内で検討し、(案) を提示する。メールで回覧の際は委員全員に送付し検討する。

→ 今後も「委員会後 2 か月程度で検討しアップデートする」というサイクルで継続。

→ (A) 担当内でコンテンツ名称を検討する。

文責：石黒めぐみ